

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 不破寛和	
歴史-01 世界遺産条約登録事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の歴史的遺産を世界遺産一覧表へ掲載するため。
効果	鎌倉の歴史的遺産を確実に後世に伝えとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産のあるまちをめざすための基盤を整えるとともに、関係機関との協働により、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再検討を進めるため、比較研究を行った。</li> <li>市民の理解を得るため、啓発活動等を行った。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	7,612	6,678	6,678	当初予算(千円)	8,938		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	7,612	6,678	6,678	一般財源	8,938		
事業運営	人員配置数	2.0	3.5	3.5	人員配置数	3.5		
	人件費(千円)	15,010	26,789	26,789	人件費(千円)	27,192		
	総事業費(千円)	22,622	33,467	33,467	総事業費(千円)	36,130		
	市民1人当りの経費(円)	127	189	189	市民1人当りの経費(円)	204		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	1. 廃止・休止による影響はない
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由			
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、比較研究等により「鎌倉」の価値の再認識及び再発見と、新たなコンセプトの確立を図るとともに、そこで得られた知見や成果を広く社寺、県民、市民、関係団体などに公開することで、事業に対する理解を深め、幅広い支持を得るよう、取組を進めていく。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	比較研究で得られた知見や成果を広く社寺、県民、市民、関係団体などに公開し、事業に対する理解を深め、幅広い支持を得るよう、取組を進めていく必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度取組	比較研究で得られた知見や成果を広く市民、県民へ公開するため、新たに連続講座(実地解説と講義)を実施した。(平成27年11月15日建長寺「鎌倉から始まった禅宗寺院」、平成28年2月21日円覚寺「禅宗様建築の成立と発展」、3月27日高德院「大仏様の来た道」)	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	連続講座を継続的に実施するとともに、対象を自治町内会や社寺、関係団体へと広げていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	新たなコンセプトの確立に資する比較研究成果の獲得					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
再推薦・登録に向けた取組を進めるなかで、比較研究において成果を得ることが、新たなコンセプトを確立するための重要なステップとなるため。	目標値	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	30.0	60.0							
	達成率	100.0%	100.0%							
指標の内容	講演会等の実施回数					単位	回	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
比較研究において得られた成果を含め、「鎌倉」の価値や魅力について公表する有力なツールであるため。	目標値	1	1	1	1	1	1			
	実績値	1	4							
	達成率	100.0%	400.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成28年度までは、比較研究に係る成果を着実に積み上げるとともに、その成果について、講演会、連続講座等により、コンサルタントに情報提供することとしたい。									

● 事業に関する特記事項

■ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	■ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---------------------	--------------------------